

地球温暖化防止実行計画

2023年 11月

石川日産自動車販売株式会社

1 提出区分

新規 ・ 更新

2 事業所の概要等

事業所の名称又は名称	石川日産自動車販売株式会社	
主たる事業所の所在地	金沢市若宮町ホ47番地	
事業の業種	1 小売・卸売・サービス業 2 情報・金融業 3 建設業 4 運輸・環境業 5 製造業 6 その他 ()	
主たる事業の内容	新車・中古車の販売、整備。保険代理店業務	
連絡先 (ホームページでは 非公開とします)	担当部署	EV事業部
	担当者役職	課長
	担当者氏名	柱山 卓摩
	電話番号	080-8999-5297
	FAX番号	076-223-7213
	E-Mail	hashirayama-t@ishikawa-nissan.co.jp

3 計画の目的

日本政府が宣言した2050年カーボンニュートラルを実現するため、持続可能な社会を目指し、自動車産業の一翼を担うディーラー企業として率先して取り組んでいく事を目的とする。

4 計画の対象範囲

全社(16拠点)

5 計画期間

2023年-2027年

(実行計画策定の目安)

短期目標：2025年に2022年度比91.3%

長期目標：2027年に2022年度比87.7%

6 基準年度(計画前年度)のCO2排出状況 (2022 年度)

※排出係数は、2013年度(平成25年度)に固定

燃料等区分	使用量	CO2 排出係数	CO2排出量 (kg-CO2)	CO2排出割合 (%)
電 気 (kwh)	1,869,781	0.63	1,177,962	83%
ガソリン (L)	80,433	2.32	186,605	13%
軽 油 (L)	18,573	2.58	47,918	3%
灯 油 (L)	812	2.49	2,022	0%
A 重油 (L)	0	2.71	0	0%
都市ガス (m³)	2,783	2.29	6,373	0%
液化天然ガスLPG(m³)	0	5.97	0	0%
CO2排出量合計 (kg-CO2)			1,420,879	100%

7 事業の中で排出される温室効果ガスの主な排出原因

拠点での照明・空調等に使用する電気。
EVへの充電に使用する電気。
試乗車・社用車にて使用する燃料(ガソリン・軽油)。

8 CO2排出量削減目標

※削減対象は、上記6に記載する燃料等のエネルギー起源二酸化炭素排出量とします。

A CO2総排出量による目標設定 (原単位の場合は空欄)

区 分	西暦	西暦	西暦	西暦	西暦
	2023	2024	2025	2026	2027
CO2排出量 (kg-CO2)	1,379,674	1,338,468	1,297,263	1,271,687	1,246,111
対基準年度削減目標	3%	6%	9%	11%	12%

B 原単位によるCO2総排出量の目標設定 (原単位以外の場合は空欄)

区 分	西暦	西暦	西暦	西暦	西暦
	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE
CO2排出量 (kg-CO2)	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE
対基準年度削減目標	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE
原単位に用いた指標					

9 CO2排出量削減に向けての具体的な取組内容

- 電気使用量、燃料使用量の見える化し店舗で共有する。
- 電気使用量について、各拠点に推進リーダーを設置し削減に取り組む。
- 家電・設備使用についてのルールを策定。
(例:空調温度・運転開始・終了時間、こまめな電源OFF、照明タイマー調整、等々)
- 社用車・代車のEV化
- 業務改善
(社用車使用、残業時間、クールビズ・ウォームビズの推進)

10 その他の環境に関する取組

【廃棄物の排出削減】

2022年度(基準年)の排出量:(325,310)kg

通年取組事項

分別項目の細分化に取り組む。

【紙の使用量削減】

年度(基準年)の使用量:(0)枚

通年取組事項

【水の使用量削減】

年度(基準年)の使用量:(0)m³

通年取組事項

(環境保全活動の推進)

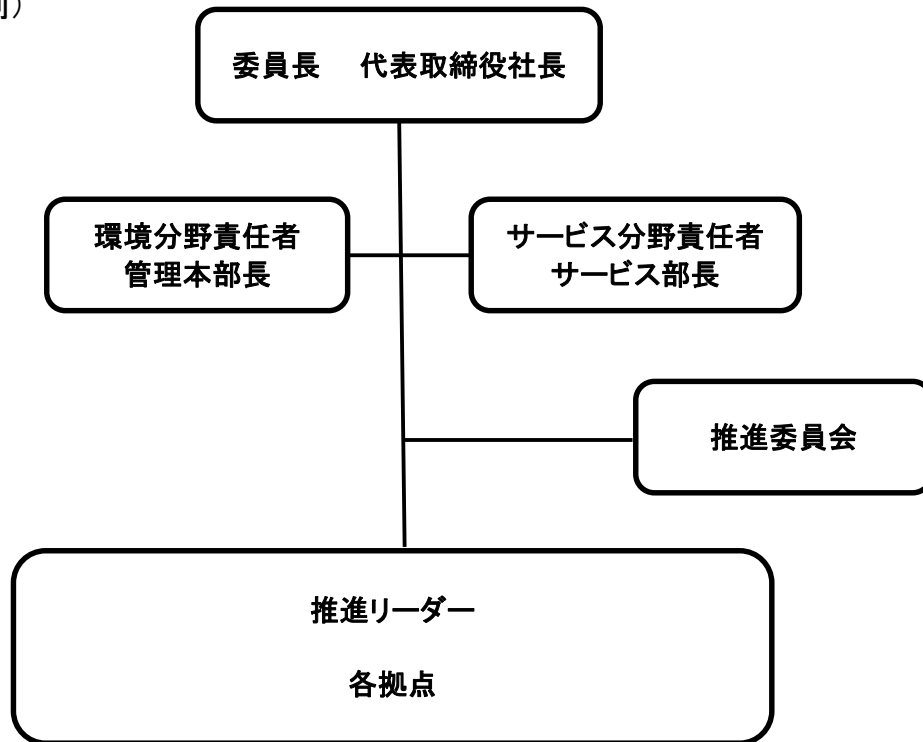
「日産わくわくエコスクール」の開催

地球温暖化と電気自動車についてモデルカー実験を通して学ぶ小学生向けの体験教室、

いしかわ環境フェアや金沢エコフェスタ等のイベントや日産店舗にて開催。

11 計画の推進体制および社員研修

(推進体制)



(社員研修)

日産グリーンショップ活動に関するオンライン教育の実施
(日産グリーンショップ活動：ISO14001に準じた日産独自の
環境マネジメントシステム)